

第 I 部 総 論

1 水道の普及状況

本県の水道普及率は、平成26年3月末現在で93.6%（総人口5,081千人に対して給水人口4,755千人）となっており、全国の水道普及率97.7%に比べ約4ポイント低い状況にあります。なお、未給水人口は327千人となっています。

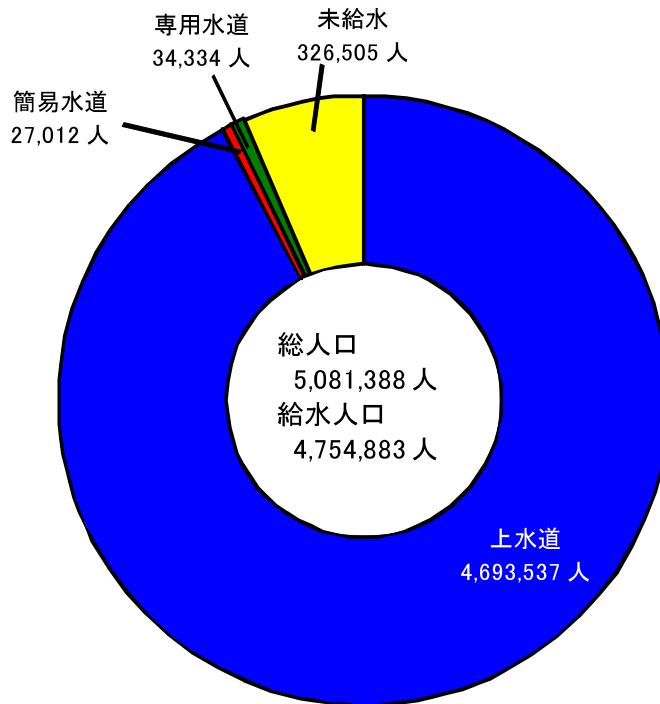
広域圏別の水道普及率は、福岡地域が96.1%と最も高く、次いで北九州地域が95.8%、筑豊地域が94.9%、筑後地域が82.8%となっています。

また、給水人口の内訳は、上水道が4,694千人（98.7%）と最も多く、次いで専用水道が34千人（0.7%）、簡易水道が27千人（0.6%）となっています。

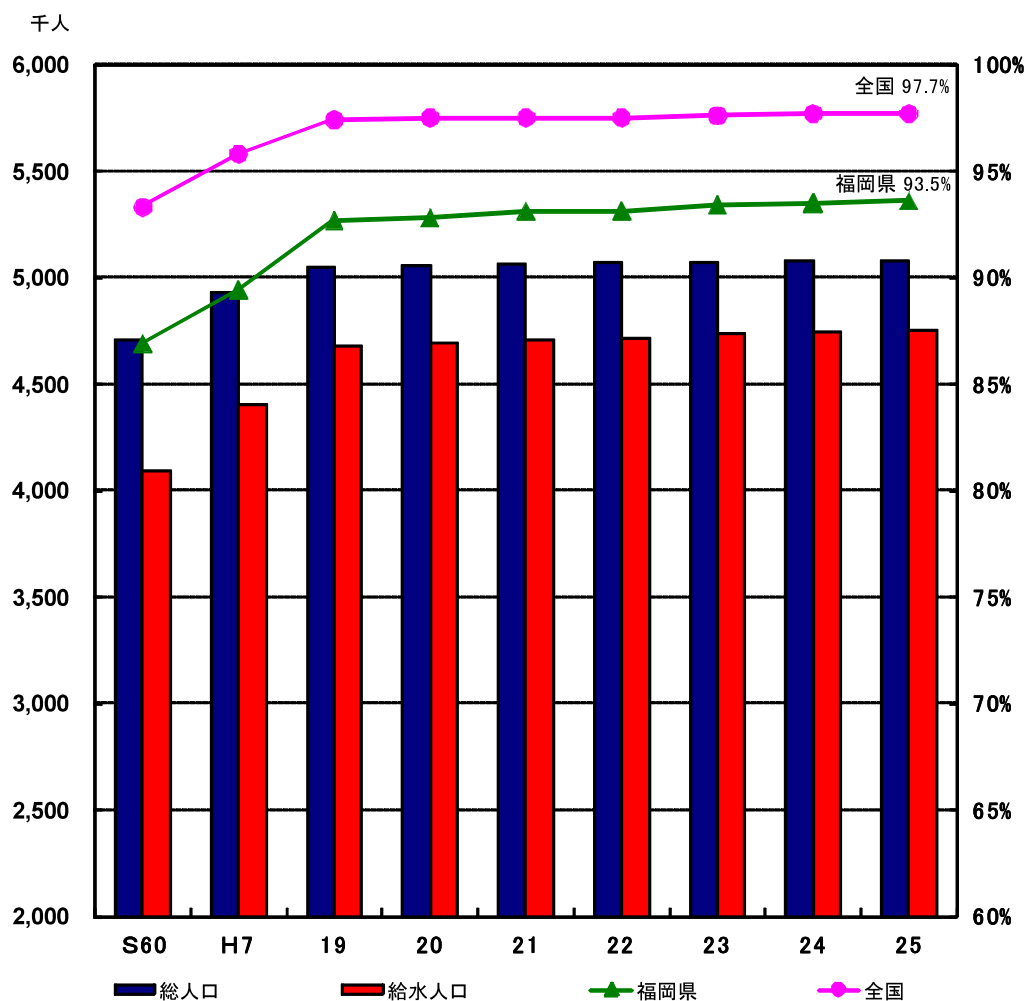
◎ 現在給水人口と普及率（平成26年3月末現在）

広域圏	総人口 (人)	現在給水人口 (人)			未給水人口 (人)	普及率
		上水道	簡易水道	専用水道		
福岡	2,470,734	2,374,470	2,355,621	2,020	16,829	96.1%
北九州	1,286,899	1,233,415	1,223,622	8,296	1,497	95.8%
筑後	902,415	747,271	722,197	10,787	14,287	82.8%
筑豊	421,340	399,727	392,097	5,909	1,721	94.9%
県計	5,081,388	4,754,883	4,693,537	27,012	34,334	93.6%

※ 専用水道は、自己水源によるもののみを計上



◎ 水道普及状況の推移



		S60	H7	19	20	21	22	23	24	25
本県の総人口 (千人)		4,708	4,926	5,049	5,053	5,060	5,067	5,072	5,076	5,081
本県の給水人口 (千人)		4,090	4,404	4,680	4,691	4,710	4,716	4,737	4,744	4,755
普及率	福岡県	86.9%	89.4%	92.7%	92.8%	93.1%	93.1%	93.4%	93.5%	93.6%
	全国	93.3%	95.8%	97.4%	97.5%	97.5%	97.5%	97.6%	97.7%	97.7%

2 給水の状況

(1) 年間給水量

平成 25 年度の年間給水量は 488,827 千 m³ となっており、その大部分を上水道による給水が占めています(99.4%)。なお、年間給水量は前年度から 2,333 千 m³ 増加しています。

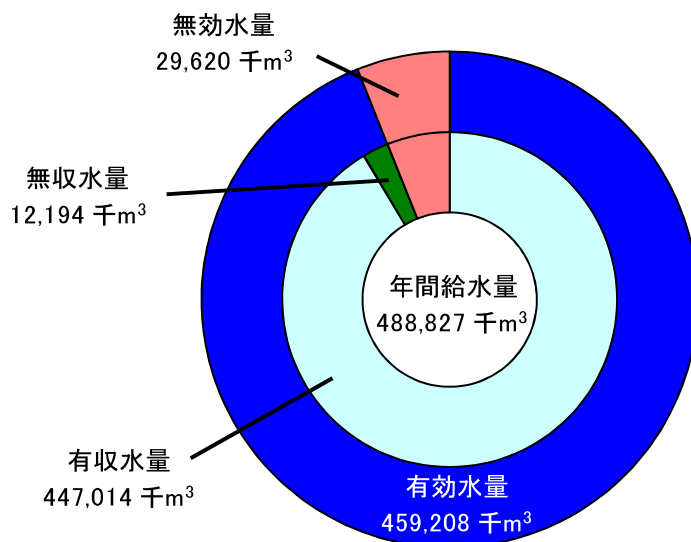
また、漏水などによる無効水量を除いた、年間給水量に対する有効水量の割合(有効率)は 93.9%となっています。

◎ 広域圏別給水量(上水道、簡易水道)

(単位:千m³)

区分	広域圏	年間給水量 A (B+E)	有効水量 B	有効水量の内訳		無効水量 E	有効率 B/A	有収率 C/A
				有収水量 C	無収水量 D			
上水道	福岡	225,428	217,665	214,669	2,996	7,763	96.6%	95.2%
	北九州	140,374	129,633	124,298	5,335	10,741	92.3%	88.5%
	筑後	71,755	67,820	65,223	2,597	3,935	94.5%	90.9%
	筑豊	48,362	41,737	40,553	1,184	6,625	86.3%	83.9%
	計	485,919	456,855	444,743	12,112	29,064	94.0%	91.5%
簡易水道	福岡	200	178	175	3	23	88.6%	87.1%
	北九州	658	621	617	5	37	94.4%	93.7%
	筑後	1,277	1,021	992	28	256	80.0%	77.7%
	筑豊	773	533	487	46	240	69.0%	63.0%
	計	2,908	2,353	2,271	82	556	80.9%	78.1%
合計		488,827	459,208	447,014	12,194	29,620	93.9%	91.4%

※ 簡易水道の数値については、小数点以下を四捨五入しているため、合計値と一致しない



- 年間給水量 : 水道事業者が自己の給水区域に対して給水した実績水量(有効水量+無効水量)
- 有効水量 : 水道の使用上有効とされた水量(有収水量+無収水量)
- 有収水量 : 水道料金徴収の基礎となった水量
- 無収水量 : 料金徴収の対象とならなかった水量(管洗浄用、公衆便所用等)
- 無効水量 : 水道の使用上無効とされた水量(配水管からの漏水等)

(2) 用途別有収水量

上水道事業における有収水量の用途別内訳は、生活用が 354,718 千 m³、業務・営業用が 78,412 千 m³、工場用が 8,792 千 m³、その他が 2,821 千 m³となっており、生活用、業務・営業用がその大部分を占めています。

◎ 広域圏別用途別有収水量(上水道)

(単位:千m³)

広域圏	生活用	業務・営業用	工場用	その他	計
福岡	172,302	41,070	633	664	214,669
北九州	97,658	21,149	4,113	1,378	124,298
筑後	52,477	10,389	1,815	542	65,223
筑豊	32,281	5,804	2,231	237	40,553
計	354,718	78,412	8,792	2,821	444,743
構成比率	79.8%	17.6%	2.0%	0.6%	100.0%

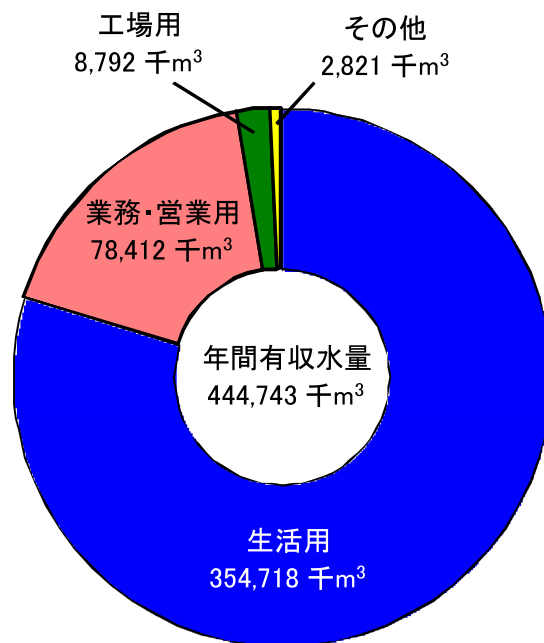
※ 用途区分は次のとおり

生活用：一般家庭用

業務・営業用：官公署、学校、病院、事務所、公衆浴場用等

工場用：工場用

その他：水道事業所用水、水道メーター不感水量等



(3) 平均給水量、最大給水量

平成 25 年度において一日平均給水量 1,339 千 m³、一日最大給水量は 1,540 千 m³と なっています。

一人一日当たりでは平均給水量が 284 リットル、最大給水量が 326 リットルとなっており、 広域圏別にみると、筑豊地域及び北九州地域が他の地域より多くなっています。

◎ 広域圏別平均給水量、最大給水量

広域圏	区 分	平均給水量		最大給水量	
		日平均 (m ³)	一人一日 (リットル)	日最大 (m ³)	一人一日 (リットル)
福 岡	上水道	617,611	262	694,097	295
	簡易水道	549	272	809	400
	計	618,160	262	694,906	295
北 九 州	上水道	384,586	314	435,029	356
	簡易水道	1,804	217	2,476	298
	計	386,390	314	437,505	355
筑 後	上水道	196,589	272	233,056	323
	簡易水道	3,498	324	5,000	464
	計	200,087	273	238,056	325
筑 豊	上水道	132,499	338	166,585	425
	簡易水道	2,117	358	3,342	566
	計	134,616	338	169,927	427
県 計	上水道	1,331,285	284	1,528,767	326
	簡易水道	7,968	295	11,627	430
	計	1,339,253	284	1,540,394	326
全 国	上水道	-	338	-	387

○ 平均給水量

- ・ 日 平 均 : 年間給水量 ÷ 365日(1年)
- ・ 一人一日 : 日平均給水量 ÷ 給水人口

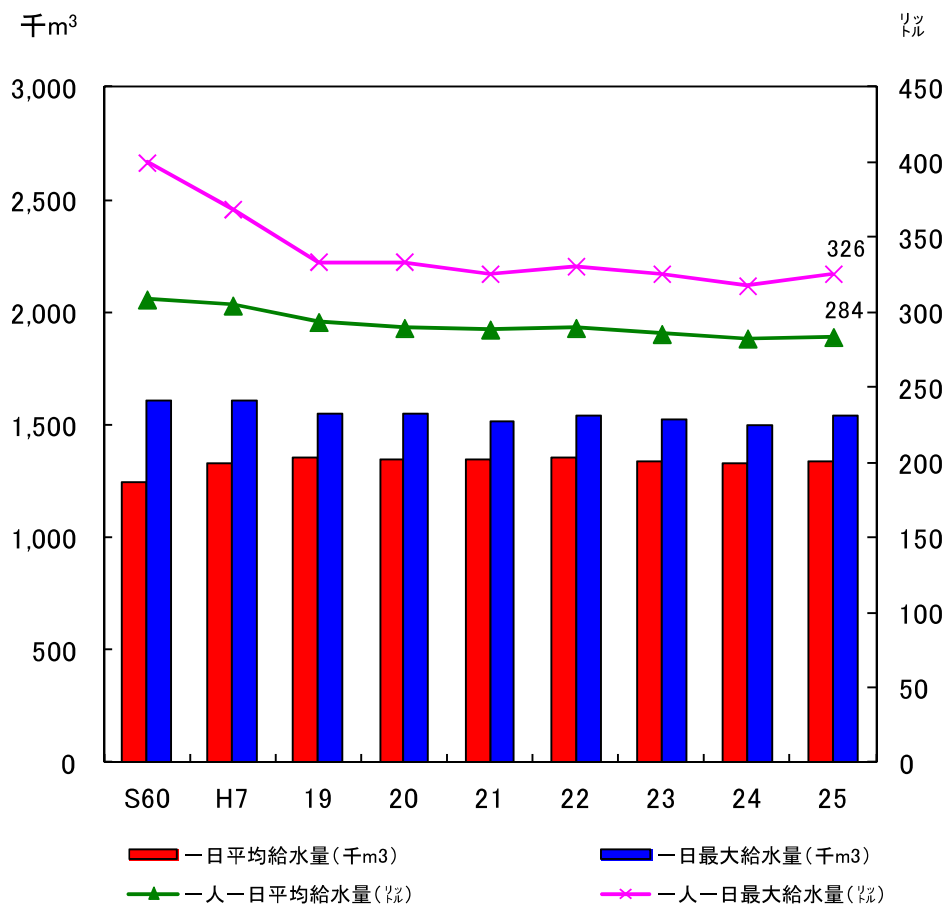
○ 最大給水量

- ・ 日 最 大 : 水道事業者ごとの日最大給水量の合計
- ・ 一人一日 : 日最大給水量 ÷ 給水人口

※ 全国は平成 24 年度末の値(本資料作成時点で平成 25 年度値は未公表)

また、一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量は、近年ほぼ横ばいで推移しています。

◎ 一日平均・最大給水量、一人一日平均・最大給水量の推移(上水道、簡易水道)



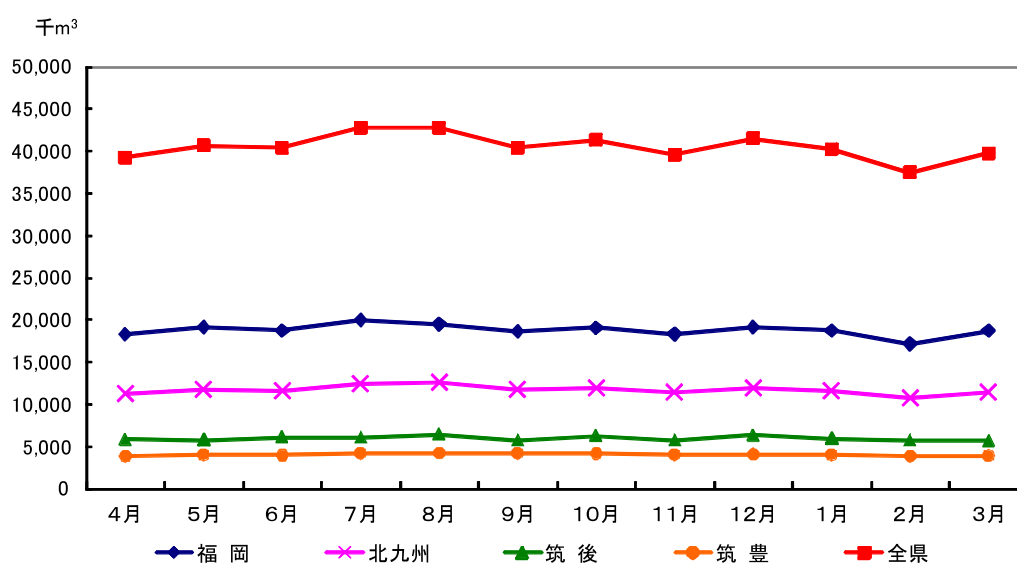
区分 \ 年度	S60	H7	19	20	21	22	23	24	25
一日平均給水量(千m ³)	1,245	1,329	1,359	1,348	1,347	1,357	1,341	1,333	1,339
一日最大給水量(千m ³)	1,611	1,607	1,548	1,552	1,520	1,546	1,527	1,500	1,540
一人一日平均給水量(ℓ)	309	305	294	290	289	290	286	283	284
一人一日最大給水量(ℓ)	400	369	334	334	326	331	326	318	326

(4) 月別給水量

平成 25 年度の上水道事業における月別給水量の最大値は7月の42,745 千 m³であり、最小値は2月の37,443 千 m³となっています。

広域圏別にみると、福岡地域の最大値は7月の19,995 千 m³、最小値は2月の17,156 千 m³、北九州地域の最大値は8月の12,557 千 m³、最小値は2月の10,699 千 m³、筑後地域の最大値は8月の6,441 千 m³、最小値は3月の5,686 千 m³、筑豊地域の最大値は8月の4,212 千 m³、最小値は4月の3,830 千 m³となっています。

◎ 月別給水量(上水道)



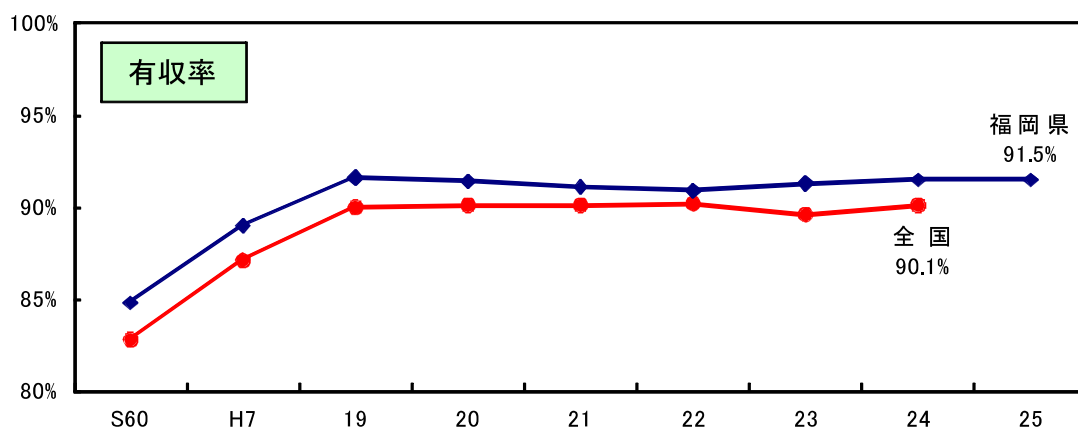
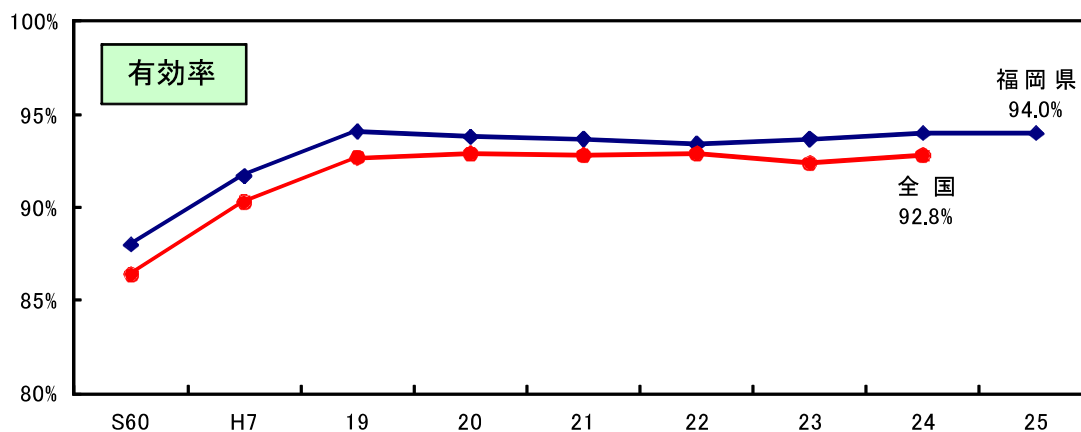
(単位: 千m³)

広域圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福岡	18,315	19,121	18,739	19,995	19,503	18,644	19,047	18,344	19,137	18,726	17,156	18,701	225,428
北九州	11,217	11,770	11,632	12,483	12,557	11,812	11,870	11,452	11,900	11,604	10,699	11,378	140,374
筑後	5,859	5,769	6,098	6,088	6,441	5,743	6,272	5,731	6,374	5,954	5,740	5,686	71,755
筑豊	3,830	3,985	3,948	4,179	4,212	4,190	4,150	4,028	4,077	3,988	3,848	3,927	48,362
計	39,221	40,645	40,417	42,745	42,713	40,389	41,339	39,555	41,488	40,272	37,443	39,692	485,919

(5) 有効率、有収率

上水道事業における平成 25 年度の有効率は 94.0%、有収率は 91.5%となっており、どちらも全国平均を上回って推移しています。

◎ 有効率、有収率の推移(上水道)



		S60	H7	19	20	21	22	23	24	25
有効率	福岡県	88.0%	91.7%	94.1%	93.8%	93.7%	93.4%	93.7%	94.0%	94.0%
	全国	86.4%	90.3%	92.7%	92.9%	92.8%	92.9%	92.4%	92.8%	未公表
有収率	福岡県	84.8%	89.0%	91.6%	91.4%	91.1%	90.9%	91.3%	91.5%	91.5%
	全国	82.8%	87.1%	90.0%	90.1%	90.1%	90.2%	89.6%	90.1%	未公表

○ 有効率：年間給水量に対する有効水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度有効に使用されているかを示す指標

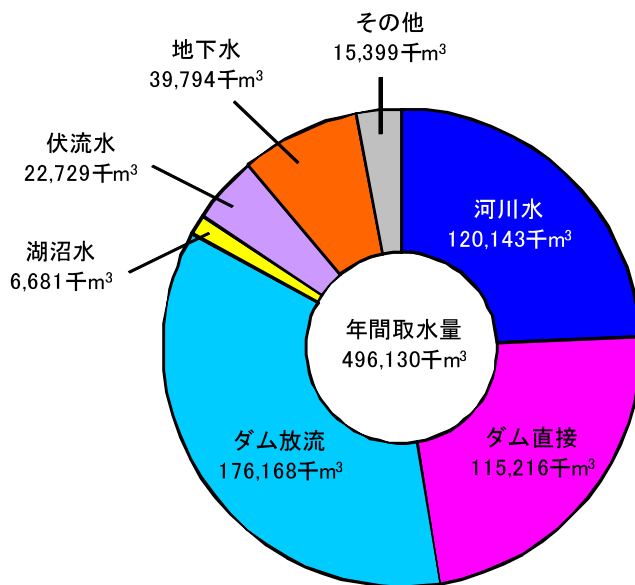
○ 有収率：年間給水量に対する有収水量の割合を示すもので、給水される水量がどの程度収益につながっているかを示す指標

※ 本資料作成時点で、全国の平成 25 年度値は未公表

3 取水の状況

平成 25 年度における上水道事業及び水道用水供給事業の年間取水量は合わせて 496,130 千 m³ で、その大部分を表流水(河川水、ダム直接、ダム放流及び湖沼水)からの取水が占めています(84.3%)。

◎ 年間取水量の内訳(上水道、水道用水供給)



◎ 年間取水量の推移(上水道、水道用水供給)

(単位: 千 m³)

年 度	S60	H7	19	20	21	22	23	24	25
河 川 水	116,791	163,039	139,094	122,391	138,897	132,788	118,090	128,986	120,143
ダ ム 直 接	131,761	113,409	99,574	118,869	104,626	116,002	126,879	107,876	115,216
ダ ム 放 流	134,891	120,667	172,450	164,168	167,802	146,689	157,447	161,330	176,168
湖 沼 水	5,537	7,981	8,018	7,715	7,498	7,425	7,229	7,431	6,681
伏 流 水	22,736	24,389	21,812	18,056	20,063	21,563	20,002	21,715	22,729
地 下 水	47,998	56,701	48,533	47,532	48,137	50,275	49,002	46,449	39,794
そ の 他	1,003	1,429	29,444	25,765	26,959	29,995	15,011	27,287	15,399
(海水淡水化)	-	-	(28,795)	(25,205)	(26,183)	(29,209)	(14,208)	(26,540)	(14,597)
計	460,717	487,615	518,925	504,496	513,982	504,737	493,660	501,074	496,130

※ その他欄の()は、海水淡水化施設で内数。(平成18年度以降)

4 財務の状況

(1) 総収益と総費用

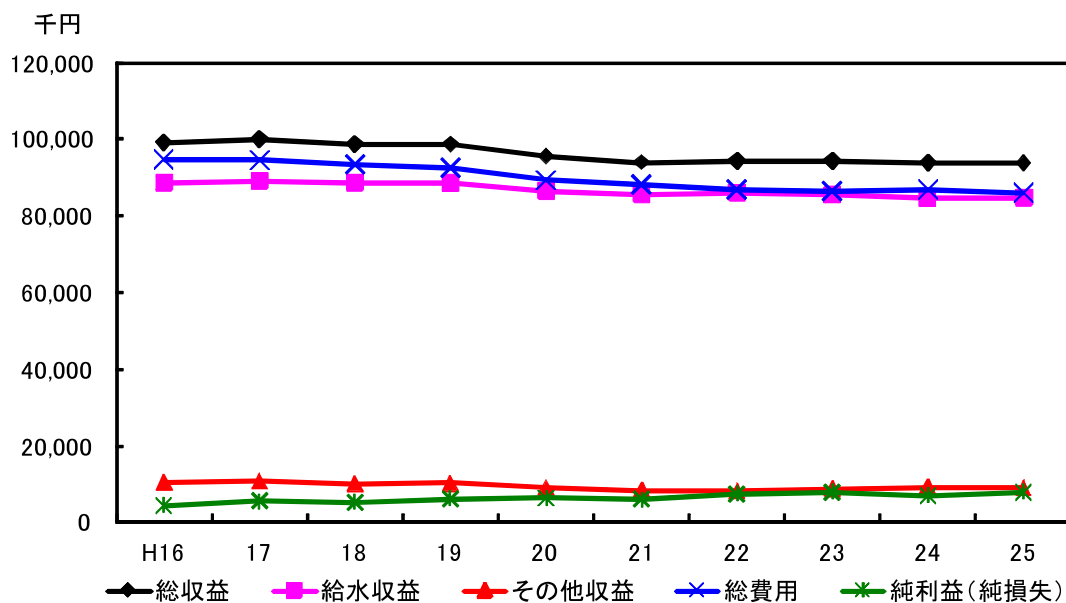
平成25年度における上水道事業の総収益は938億円となっており、前年度から1億3千万円減少しています。また、総費用は859億円となっており、前年度から10億2千万円減少しています。

なお、総収益から総費用を差し引いた純利益は79億5千万円となっており、前年度から8億9千万円増加しています。

◎ 総収益と総費用の推移(上水道)

(単位:千円)

年度	総収益 (A)		総費用 (B)	純利益 (A)-(B)
	給水収益	その他収益		
H16	99,204,559	10,385,606	94,810,766	4,393,793
17	100,047,167	10,799,439	94,507,398	5,539,769
18	98,795,941	10,131,160	93,537,038	5,258,903
19	98,824,166	10,250,193	92,608,199	6,215,967
20	95,636,195	9,138,524	89,317,396	6,318,799
21	94,048,911	8,349,431	88,084,623	5,964,288
22	94,376,472	8,179,069	86,888,804	7,487,668
23	94,415,833	8,924,002	86,423,294	7,992,539
24	93,967,231	9,268,662	86,907,512	7,059,719
25	93,839,680	8,965,847	85,887,029	7,952,651



(2) 費用構成

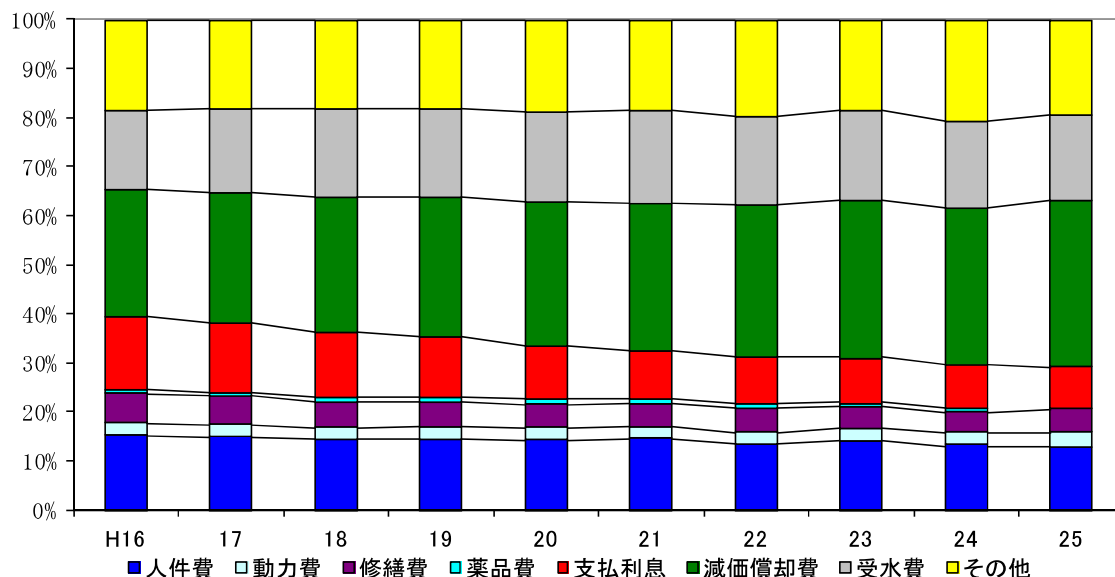
平成 25 年度の上水道事業における費用構成をみると、減価償却費と受水費がその約半分を占めています。

また、減価償却費は増加傾向に、支払利息は減少傾向にあります。

◎ 費用構成の推移(上水道)

(単位:千円)

年 度	H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
人件費	14,359,178 (15.3%)	14,004,073 (15.0%)	13,473,489 (14.5%)	13,326,208 (14.5%)	12,674,745 (14.3%)	12,753,005 (14.6%)	11,583,672 (13.4%)	12,163,184 (14.2%)	11,586,512 (13.3%)	10,918,837 (12.8%)
動力費	2,293,631 (2.5%)	2,249,976 (2.4%)	2,095,249 (2.3%)	2,194,508 (2.4%)	2,216,800 (2.5%)	2,135,244 (2.4%)	2,128,387 (2.5%)	2,151,859 (2.5%)	2,247,557 (2.6%)	2,456,538 (2.9%)
修繕費	5,696,300 (6.1%)	5,481,056 (5.9%)	4,894,972 (5.3%)	4,668,713 (5.1%)	4,229,611 (4.8%)	4,031,509 (4.6%)	4,172,701 (4.8%)	3,728,859 (4.4%)	3,593,901 (4.1%)	4,046,637 (4.8%)
薬品費	606,479 (0.6%)	694,760 (0.7%)	639,946 (0.7%)	711,474 (0.8%)	688,817 (0.8%)	847,235 (1.0%)	823,165 (1.0%)	652,646 (0.8%)	628,482 (0.7%)	639,937 (0.8%)
支払利息	13,963,110 (14.9%)	13,078,195 (14.0%)	12,408,242 (13.4%)	11,540,718 (12.6%)	9,559,580 (10.8%)	8,570,961 (9.8%)	8,201,306 (9.5%)	7,854,700 (9.2%)	7,551,342 (8.7%)	7,219,461 (8.5%)
減価償却費	24,341,977 (26.0%)	24,876,796 (26.6%)	25,536,256 (27.6%)	25,935,327 (28.3%)	26,095,868 (29.5%)	26,235,553 (30.1%)	26,946,549 (31.2%)	27,436,205 (32.1%)	27,973,733 (32.2%)	28,588,867 (33.6%)
受水費	14,919,555 (15.9%)	16,120,921 (17.3%)	16,761,061 (18.1%)	16,636,838 (18.1%)	16,317,695 (18.5%)	16,449,304 (18.9%)	15,330,453 (17.8%)	15,679,005 (18.3%)	15,404,023 (17.7%)	14,841,081 (17.4%)
その他	17,393,610 (18.6%)	16,916,950 (18.1%)	16,879,258 (18.2%)	16,720,923 (18.2%)	16,656,167 (18.8%)	16,202,508 (18.6%)	17,113,673 (19.8%)	15,910,362 (18.6%)	17,910,553 (20.6%)	16,389,179 (19.3%)
計	93,573,840 (100.0%)	93,422,727 (100.0%)	92,688,473 (100.0%)	91,734,709 (100.0%)	88,439,283 (100.0%)	87,225,319 (100.0%)	86,299,906 (100.0%)	85,576,820 (100.0%)	86,896,103 (100.0%)	85,100,537 (100.0%)



5 水道料金（上水道）

水道料金は水道事業者ごとに設定されています。

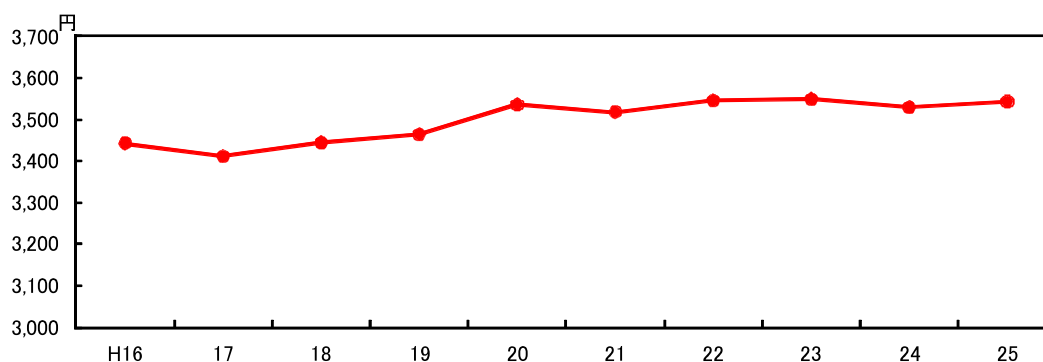
平成26年3月末現在において、家庭用1ヶ月20m³の水を使用した際の料金は下記の表のとおりで、3,500円以上4,000円未満としている事業者が最も多く、県平均は3,543円となっています。

◎ 家庭用1ヶ月20m³当たりの水道料金（上水道）

（平成26年3月31日現在）

区 分	事業体数
2,000円以上～2,500円未満	5
2,500円以上～3,000円未満	7
3,000円以上～3,500円未満	8
3,500円以上～4,000円未満	19
4,000円以上～4,500円未満	8
4,500円以上	3

◎ 県平均水道料金の推移（上水道：家庭用1ヶ月20m³当たり）



年度	H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
福岡県	3,443	3,412	3,444	3,464	3,536	3,518	3,546	3,549	3,529	3,543

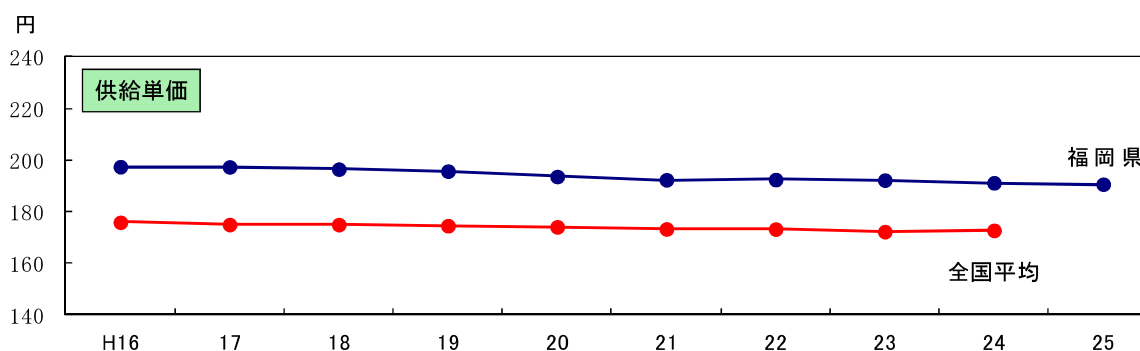
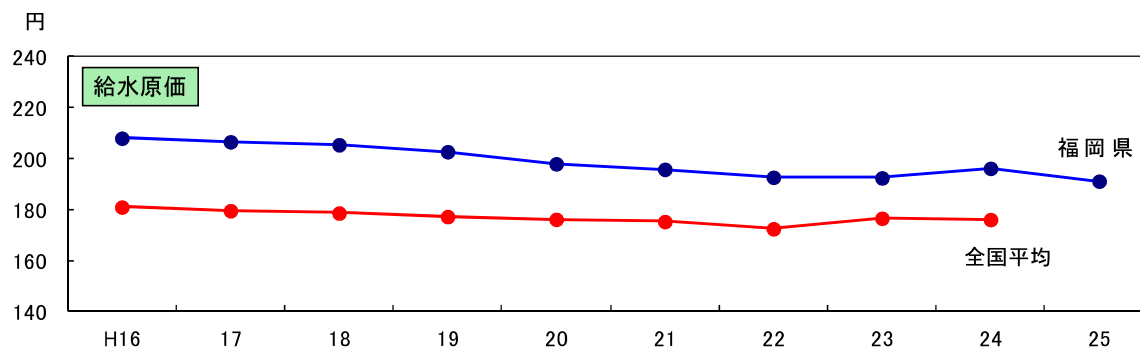
※ 基礎料金・メーター使用料を含む
 全国平均（平成24年度）：3,092円

6 給水原価と供給単価（上水道）

平成 25 年度における上水道事業の給水原価及び供給単価はそれぞれ 191.35 円/m³ 及び 190.84 円/m³ となっています。

また、いずれも近年で全国平均を上回っており、横ばいから減少傾向を示しています。

◎ 給水原価と供給単価の推移（上水道）



(単位: 円/m³)

年度		H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
給水原価	福岡県	208.20	206.78	205.62	202.89	198.17	195.97	192.86	192.62	196.36	191.35
	全国平均	181.16	179.74	178.83	177.45	176.35	175.47	172.65	176.78	176.26	未公表
供給単価	福岡県	197.62	197.54	196.69	195.90	193.82	192.54	192.64	192.43	191.39	190.84
	全国平均	176.09	175.21	175.20	174.78	174.31	173.51	173.46	172.47	172.95	未公表

○ 給水原価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを表すもの。

○ 供給単価：有収水量1m³当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表すもの。

※ 本資料作成時点で、全国平均の平成 25 年度値は未公表